

地域子ども・子育て 支援事業の種別	時間外保育事業（延長保育事業）		
本市実施事業名称	延長保育事業	所管課	保育課

【事業内容】

児童の保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に伴う保育時間の延長に対する需要に対応するため、保育時間の延長を行うことにより、児童福祉の充実を図ることを目的とする。

【25 年度の実施状況】

① 目標

公立、民間の全園実施

②実施内容・達成状況

公立、民間の全園実施

③実施にあたっての課題

特になし

【過年度の実績】

年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
施設数	32 力所	34 力所	35 力所	36 力所	36 力所
日数	245 日	245 日	245 日	245 日	245 日
利用人数	94,400 人	94,528 人	94,687 人	94,787 人	94,817 人

※H25 は、1 月までの実績

【量の見込みと確保方策】

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み	人日	人日	人日	人日	人日
確保方策	人日	人日	人日	人日	人日

【備考】

地域子ども・子育て支援事業の種別	子育て短期支援事業（ショートステイ）		
本市実施事業名称	ショートステイ事業	所管課	子ども家庭支援センター

【事業内容】

児童を養育している家庭の保護者が疾病その他の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合等に、宿泊を伴い一時的に児童を養育・保護する事業。

- ・対象児 2歳から小学6年生まで（弟妹と同時の場合は中学生まで）
- ・利用料 1日 3,000円（一般世帯）、500円（生活保護世帯・非課税世帯）
食事代 1食 就学児 400円、未就学児 300円 一泊二日 6000円
- ・利用日数制限 1利用につき7日間まで
- ・利用施設 至誠学舎立川

【25年度の取組状況】

① 目標

制度の周知徹底を図る。

② 実施内容・達成状況

ケース面接の機会に積極的に事業を紹介する。

概ね達成できた。

③ 実施にあたっての課題

- ・発達障害等、障害のある子の受け入れについて
- ・ショートステイ利用時に児童の具合が悪くなった場合など、保護者に連絡がつかない時の対応
- ・服薬やアレルギー除去食について、医師の指示書等の文書の必要性

【過年度の実績】

年度	21年度	22年度	23年	24年度	25年度
1日定員	4人	4人	4人	4人	4人
利用件数	120日	167日	233日	199日	99日

【量の見込みと確保方策】

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人日	人日	人日	人日	人日
確保方策	人日	人日	人日	人日	人日

【備考】

地域子ども・子育て支援事業の種別	地域子育て支援拠点事業		
本市実施事業名称	子育てひろば	所管課	子ども家庭支援センター

【事業内容】

①子育て家庭の親とその子ども（概ね3歳未満の児童及び保護者）の交流の場の提供

②子育て等に関する相談及び援助の実施

③地域の子育て関連情報の提供

④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

①～④をはじめとする総合的な子育て支援の拠点

乳幼児親子が気軽に集い、語り合い交流する場を提供し、地域で子育てを支えあう関係づくりと相談体制を充実させることで親たちの負担軽減を図る。

虐待予防、養育相談の最前線として、取り組みを強化する。

【25年度の実施状況】

①目標

ひろばの独自性を活かした運営支援

②実施内容・達成状況

【実施内容】「ひろば」リーフレット作成とPR。

【達成状況】子育てサークル交流会（年2回）・こどもまつりでPR

③実施にあたっての課題

ボランティアの活用

【過年度の実績】

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
実施箇所数	11カ所	22カ所	23カ所	23カ所	23カ所
来所者数	109,341人	115,717人	117,084人	118,447人	人
相談件数	5,244件	5,458件	5,348件	5,550件	件

【量の見込みと確保方策】

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人日	人日	人日	人日	人日
確保方策	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所

【備考】

地域子ども・子育て 支援事業の種別	一時預かり事業		
本市実施事業名称	日野市子ども家庭支援センター一時保育事業 日野市民間保育園一時保育事業 日野市0歳児一時保育事業	所管課	子ども家庭支援センター

【事業内容】

児童を養育している家庭の保護者が育児疲れ解消、急病及び仕事等で一時的に保育が必要となった場合に子ども家庭支援センター多摩平及び市内の民間保育園、日野市立福祉支援センター0歳児一時保育室において児童を保育する事業。

対象児童：生後3か月～就学前まで

利用時間：0歳児 月・火・木・金 9:00～16:30

1歳～就学前まで 月～土（民間保育園は月～金） 8:30～17:00（超過保育あり）

【25年度の取組状況】

① 目標

- ・利用者の利用しやすい制度への改善。

② 実施内容・達成状況

- ・利用者意見の集約分析
- ・各実施施設の特色・利用者の特色を反映したサービスを検討する。

③ 実施にあたっての課題

配置計画に基づき市内各所での一時保育実施施設の整備を行い、更に各施設間での若干の違いがあった利用条件について、同条件となるよう調整を行ってきた。

現在急な利用が必要となった場合について、各施設ごとに対応しているが、利用の流れなど検討が必要。

【過年度の実績】

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
施設数	7カ所	7カ所	7カ所	7カ所	7カ所
年間利用者数	5,722人	5,787人	5,532人	5,524人	4,017人（12月現在）

【量の見込みと確保方策】

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人日	人日	人日	人日	人日
確保方策	人日	人日	人日	人日	人日

【備考】

地域子ども・子育て 支援事業の種別	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）		
本市実施事業名称	日野市トワイライトステイ事業	所管課	子ども家庭支援センター

【事業内容】

家族の入院、残業等で保護者の帰宅が夜間にわたり子どもの保育ができない場合、夕方から夜まで子どもを預かる事業。

- ・対象児童：1歳～小学校3年生
- ・利用時間：18:00～22:00
- ・閉館日：日曜・国民の祝日・年末年始
- ・利用料：1回1,000円（減免制度あり）、移送費1回400円（同）、夕食費用500円
- ・定員：7名

【25年度の取組状況】

①目標

利用料見直し後の制度の周知徹底

②実施内容・達成状況

利用案内を作成し、登録手続き時に説明を実施。

全ての市民への周知まで至っていないため、「知っとくハンドブック」、広報等で引き続き周知に努める。

③実施にあたっての課題

事業開始以来、利用者の増加に伴い定員を増やし、利用条件の緩和を行い利用者の対象を広げたことにより、より多くの市民の利用が可能となった。子どもを預かることは、保護者の仕事・用事、育児疲れ解消、急病など保護者のために必要な面と、保育園や幼稚園のように、周りの友達が同年齢・同じ友達という状況ではなく、その日によって違うメンバー、保育時間、慣れない場所での緊張等のストレスなど、子どもに掛かる負担にも考慮する必要がある。

【過年度の実績】

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1日定員	7人	7人	7人	7人	7人
利用件数	625件	574件	564件	536件	337件(12月現在)

【量の見込みと確保方策】

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	人日	人日	人日	人日	人日
確保方策	人日	人日	人日	人日	人日

【備考】

地域子ども・子育て 支援事業の種別	ファミリー・サポート・センター事業		
本市実施事業名称	日野市ファミリー・サポート・センター	所管課	子ども家庭支援センター

【事業内容】

日野市の委託事業。NPO法人市民サポートセンター日野に委託。本部が多摩平に支部が高幡にある。

手助けが必要な方（依頼会員）と、手助けができる方（提供会員）が登録（無料）をし、ファミリー・サポート・センターを仲介とした、子育て等を地域で助け合う有償ボランティア活動。

依頼会員でもあり提供会員でもある方（両方会員）もいる。

会員を組織として、相互援助活動の調整等を行い、また、多様化するニーズに対応するため、講習会の実施等により会員の資質向上を図っている。

【25年度の取組状況】

①目標

事業のさらなる周知により、依頼会員を増やす

②実施内容・達成状況

育児援助、妊産婦・家事・高齢者援助とも会員数を増やしている。また、講習会も工夫しながら実施しており、提供会員の資質向上を図っている。

③実施にあたっての課題

○育児援助、妊産婦・家事・高齢者援助とも会員数を順調に増やしてきたことにより、個人情報取扱事業者となる為、今まで以上に個人情報の取り扱い等に対して、環境整備等取り組みを進めていかなければならない。

○会員登録をしたままで、支援に関わっていない方への会員登録継続希望の確認、整理が必要。

【過年度の実績】

年度	21年度	22年	23年度	24年度	25年度
提供会員数	944人	1042人	1090人	1145人	1185人
依頼会員数	3898人	5752人	7283人	9054人	10396人
両方会員数	174人	216人	234人	257人	265人

平成26年度は、2月末現在

【量の見込みと確保方策】

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	件/年	件/年	件/年	件/年	件/年
確保方策	件/年	件/年	件/年	件/年	件/年

【備考】

地域子ども・子育て 支援事業の種別	病児保育事業		
本市実施事業名称	病児・病後児保育事業	所管課	保育課

【事業内容】

保育又は監護に欠ける児童が病中又は病気の「回復期」であり、集団保育及び集団育成の困難な期間、一時的にその児童の一時預りを行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的とする。

【25 年度の実施状況】

①目標

利用人数 2,904 人

②実施内容・達成状況

市内 2 カ所において、病児・病後児保育を実施。

③実施にあたっての課題

特になし

【過年度の実績】

年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
施設数	2 カ所	2 カ所	2 カ所	2 カ所	2 カ所
日数	245 日	245 日	245 日	245 日	245 日
利用人数	608 人	637 人	627 人	812 人	655 人

※H25 は、1 月までの実績

【量の見込みと確保方策】

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み	人日	人日	人日	人日	人日
確保方策	人日	人日	人日	人日	人日

【備考】

地域子ども・子育て 支援事業の種別	利用者支援		
本市実施事業名称	新規事業のため未定	所管課	子ども家庭支援センター

【事業内容】

小学校就学前の児童とその保護者や妊婦、学童期の児童とその保護者を対象に、多様な子育て支援に関する給付・事業の中から適切に選択できるよう地域の身近な立場から支援する。

地域の子育て支援に関する施設で行われている事業等について情報を継続的に収集し保護者に提供する。

相談に訪れた保護者等の個別ニーズを把握した上で、適当な行政窓口や子育て支援に関する施設、事業等を提示することで、利用を支援したり、適切な専門機関等につないだりする。

【25 年度の取組状況】

①目標

②実施内容・達成状況

③実施にあたっての課題

【過年度の実績】

（参考：「子育てひろば」の過年度実績）

年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
箇所数	力所	力所	力所	力所	力所
来所者数	人	人	人	人	人

【量の見込みと確保方策】

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み	力所	力所	力所	力所	力所
確保方策	力所	力所	力所	力所	力所

【備考】